

2021年1月29日沖底@賀露地方卸売市場

年が明けてから色々な事情で賀露に行くことが出来ておらず、ようやく賀露市場調査に行くことが出来ました。小雪が舞う中、全船5隻の入港がありました。



今年は昨年に比べて1月からハタハタがよく獲れており、今回の操業分はサイズも良く、大きいものがまとまって獲れたとのことで、規格3番(平均体長152mm=推定2歳魚)が比較的小さい4番、5番に匹敵するほど多く獲れていました。また、大きな1番、2番も数は少ないですが獲れていました。ちなみにいずれも卵を抱えた個体はおらず、既に産卵を終えたようです。鳥取沖で豊富な餌を食べに来遊しているようです。



ハタハタの次に多く獲れていたのがアカガレイです。大きい個体はみな卵を持っており、体に厚みがありました。



賀露ではソウハチの測定も行っており、数が少なかったですが、漁協職員さんや漁師さんのおかげで、調査のため、購入させていただくことが出来ました。1月は例年ソウハチの水揚げが少なく、調査タイミングが難しいのですが、1月の情報が欠測にならなかったのも本当に感謝いたします。



そのほか、クロザコエビ（もさえび）、ニギス、エッチュウバイ（白ばい）、エゾボラモドキ（赤ばい）などが獲れていました。

